

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471503122		
法人名	ゆうゆう株式会社		
事業所名	グループホームゆうゆう神谷川		
所在地	福山市新市町新市258-2		
自己評価作成日	平成25年2月15日	評価結果市町村受理日	平成25年5月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと		
所在地	福山市三吉町南1丁目11-31-201		
訪問調査日	平成25年3月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

外出や行事など可能な限り実現、支援をしていっているところ。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

同法人の小規模多機能が階下にあり、運営推進会議や消防訓練、又、行事(餅つき大会、食事会)等も協力しながら行い、利用者同士の交流にも繋がっていると共に町内会長や近隣の方の参加も得られ常に助言や手助けなど積極的にしてもらおうと言う良い関係が出来ている。ケア面に於いたも馴染の関係を大切に考えられ以前住まれていた場所へ外向き馴染の方との出会える機会を作られたり、又、一人ひとりに沿った細やかなケアに心掛けられている。食事面に於いても毎回メニューを写真にとり全体会議で意見交換等を行い、食の楽しみを味わってもらえる様取り組まれている。家族会も毎月実施し家族との信頼関係を築き、両者で利用者を支え合い、安心、安全な生活が出来る様ホーム長はじめ職員がその思いを共有し支援されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	特定非営利活動法人 あしすと			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作っている。	法人理念を毎朝唱和すると共に事業所独自の理念も職員で作上げ、日々共有し実践する様周知されている。また、勉強会でも振り返る機会を作り、理念に沿ったケアが出来る様務めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事には、積極的に参加している。	地域行事に参加したり、事業所の餅つき大会や食事会等に地域の方を招いたり、散歩時にはあいさつを積極的に行い交流を深める様務めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会や地域行事などに参加して認知症の勉強会等の講師派遣ができる事をアピールしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度実施しており、食事会、もちつきなど意見を参考に実践しています。	隣接や階下の事業所と共に定期的実施し、地域の方や分野の違う方がたの参加の下、現状や行事、ヒヤリーハットの事例などを報告し、意見交換とし多くの意見や助言など、また、特に災害等に対する貴重な意見も得、運営に反映させている。	定期的に開催され、貴重な意見が得られサービス向上に活かされているが、利用者家族にも参加してもらい、家族の思いや要望を聞く機会となる事が大切と考えられる。今後は参加を呼び掛ける取り組みが望ましい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議 支所会議などで意見交換をし協力関係をきづいています。	毎週開催される支所会議に出席している為、顔見知りの関係も出来ている。その都度アドバイスや情報提供も得られ協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の勉強会を行い、日々しないようにしています。	不穏な方は行動から察知し見守りや色々な工夫をし、抑圧感のない支援に努めている。年1回研修を実施し弊害について正しく理解する様周知徹底し拘束のないケアに心掛けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会にて防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	話し合いを行い必要な人には活用できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は家族と話し合い意見を聞いて不安や疑問を解消しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設けている。	訪問時や家族会等で聞き取るように努めている。気軽に要望や意見を言ってもらえる様な関係が出来ている。遠方の方には状況報告する際聞くように努め、それらの意見や要望は運営に反映させると共に個々に対応されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の全体会議で自由な意見交換を実施	朝、夕の申し送りの際やミーティング等で聞いたり、月1回の全体会議で意見が出やすい雰囲気づくりをし多くの意見を聞くよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	評価制度を導入し個々の適切な評価に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社の研修、および外部の研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のケア会議に参加して、情報交換をしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当制を設けており、御利用者様となじみの関係をつくり、率直なお話をさせていただいています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時、入所された後も、面会時には話を聞くようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネと連携し、他のサービス利用も含めた対応を考えてます。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援の立場で接し、楽しく共同生活ができるように、努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族様と連携をはかり、共に支えていけるように努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に生活歴を聞き、以前の生活が継続できるように努めており、本人様の希望を実現しております。	以前住まれていた場所や入居されていた事業所等へ出向いたりし、交流継続が出来る様支援している。親せきや昔の友達に会い行く事もある。できるだけ以前の生活歴が活かされたケアに努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様が自由に交流できるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、大事なお客様として接している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや暮らしの希望を聞き、それにそった支援をしています。	日々の関わりの中や生活歴、家族の情報等を基に選択肢を出しその中から選んでもらい可能な限り意向に添える様支援している。買い物や外食等の希望がでる。又、帰宅願望の方には自宅近くま行かれた事もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時に、家族 本人様に生活歴、現在の暮らしを聞いて、サービスに反映しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様の日課をたて、一日のくらしに役たてている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス等開きサービスの向上に努めています。	アセスメントや家族、本人の要望を基にカンファレンスで検討し、家族や職員の意見を反映させ、本人本位の計画を作成している。又、3ヶ月ごとにモニタリングを行い評価し、定期的に見直しされている。日々家族の想いを記録に残し、常に反映させた計画となる様務めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝 夕に申し送りをし、情報の共有をしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況にあわせてサービス内容があっているか検討し、見極めながら支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事に参加していなかで、まわりとの関係を深め、御利用者様を地域全体で支援していくよう努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御利用者様のかかりつけ医と常に連携をとりながら、適切な医療が受けられるように、支援しています。	内科、歯科共にかかりつけ医の場合は、受診は家族となっているが、送迎の支援はされている。医師共連携を取り状況把握は常に行い適切な対応をしている。又、協力医の往診月2回、歯科往診もある。結果については受診記録に記入し、家族、職員情報の共有はできている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	一日数回看護師が状態を確認し、安全に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の医者、地域連携室の方と連携を図っています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の話し合いを家族とし、確認をしています。	指針を基に説明をされ承諾を得ている。状況によりその都度話し合い意向の確認とリスクについての説明を行っている。看護師会議に参加し終末や重度化等の対応についての研修を受けると共に、事例を基に勉強会も実施し、方針を共有し、医療連携を図りながら支援できるよう取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアル等で備えております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を実施し、災害に備えている。	隣接や階下にある同事業所と合同で年2回避難訓練は実施されている。避難場所の確保や避難経路等も全職員に周知徹底する様取り組まれている。運営推進会議の中で協力をお願いもされ協力体制の強化に繋げる様努められている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人を尊重し、プライバシー保護しています。	尊厳を大切に個々に合わせた言葉かけや対応をされている。入浴時やトイレでの介助、居室のドアノックなどにもプライバシーを損ねないよう対応に心掛ける様周知している。ミーティングで事例を基に勉強会もされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の希望にそい、常に自己決定できるように、働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課表を作り、その人らしい暮らしを実現できるように、努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分の好みを優先し、その人にあつた身だしなみを心がけてます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りを一緒にし、メニューなども日常の会話から、食べたい物を把握し、献立にいかしています。	身体状況に合わせた形態で、食を促す声かけや食材の話をしながら楽しみの時間となる様支援されている。法人全体が食についてを大切に考えられ、毎回の食事メニューを写真に撮り、事業所全体で話し合い常に改善に向け取り組まれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立を作る時に栄養のバランスを常に考えています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施しています。また往診でもみてもらってます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	各人の排泄パターンを把握し、その人にあった排泄を支援しています。	個々の時間帯と行動から把握し、できるだけトイレでの排泄習慣を活かした支援に心掛け、プライバシーに配慮しながらトイレ誘導されている。自立の方には見守りで支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘時は食事に気をつけ、また主治医と連携しながら、便秘薬を処方して対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ある程度決まった入浴日ですが、本人の希望にそった日にち、時間に入浴を楽しんでいただいています。	時間帯は一応決めているが、その人の希望で時間や曜日などは柔軟にされている。日曜日は足湯マッサージと決め、希望により対応している。拒否の方にはタイミングをみながら支援し清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを大事にし、夜間はぐっすり眠ってもらえるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医や家族と連携しながら、薬を管理しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩や買物、外出、野外での食事など日々張りのある生活をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人希望にそった外出を支援し、全体でも定期的に外出行事を実施しています。	計画を立て、月1回は外出支援をされている。笠岡のカブトガニ館や瀬戸田、世羅、又首なし地蔵さんなどにお参りをする等、できるだけ戸外に出かけ気分転換や外気に触れり機会を持つよう努められている。また、同法人の事業所交流も図られ色々な方とのふれ合いを大切に支援されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御自分で使える人には、お小遣いは自由に所持してもらっています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば実現しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に御利用者様の目線で空間を見るよう努力しています。	その季節に合った装飾品が飾られ、室内は明るく窓からの日差しが心地よく、室温にも配慮されている。対面キッチンからの食事準備の音や匂いが感じられ家庭的な雰囲気の共有空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファー まるテーブルなどを活用し、快適感を感じていただき、工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なじみの物を家から持ってきていただき、家にいたころと同じ空間作りをしています。	家具や思い出の写真、趣味の刺繍の作品が飾られ、生活歴を生かした工夫をし、その人らしく落ち着いて過ごせるよう配慮された居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援の立場で接し、できる事をしていただき、張りのある生活に努めています。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議で他の事業所の家族様は参加されていますが、グループホームの家族様の参加がないので、今後は参加してもらうようにする。	運営推進会議に家族様にも参加してもらう。	運営推進会議がどのような会なのかを説明し、参加していただけるようお願いをします。	2ヶ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。